

せおと

岡崎市立常磐小学校
令和四年二月十日

縄跳びチャレンジ

今年も始まりました。ねらいは、体力の向上と、自分の目標に向かって努力することができるようにすることです。今年度は、コロナウイルス感染症対策のため、先に短縄跳びからスタートしました。子供たちが持っている「なわとび進級カード」は、初級・中級・上級・名人の四枚です。それぞれに1級から10級までの種目があり、全部クリアすると、上の級のカードをもらえます。名人カードともなると、三重とび・うしろはやぶさ・うしろこうき二重とびなど、驚きの技の数々です。現在、名人のカードを持っているのは、全校でも六、七名です。カードは、六年間持ち上がりしますので、低学年の皆さんも名人目指して、一種目一種目制覇していきましょう。

また、長縄チャレンジには、互いを思いやり励まし合って仲間力を向上させるねらいもあります。体育の授業や休み時間に、クラスで練習して、来週のチャレンジに備えておきましょう。



歴史のあるわが町

私たちが暮らす滝町は、鎌倉時代に始まったという祭りを八百年続けてきた歴史のある学区です。その祭りが行われるのが滝山寺です。昨年度、屋根の葺き替えが行われた日吉山王社は、徳川家康により建立されたと伝わっています。その家康公をまつる東照宮が、三代將軍家光公によって建立されました。こうした歴史ある文化財は、地域の人々の尽力によって守られています。

さて、滝山寺で行われる「鬼祭り」の鬼は、邪鬼をはらう神聖な鬼とされています。祭りは、神聖な鬼の面をかぶった「冠面者（かんめんじや）」が主役となり行われます。三つの面のうち「孫面」を被るのは本校の小学生です。この鬼の面をかぶるには、祭りの前七日間、身を清める必要があります。行わなければならないことや、してはいけないことがあるようです。



【民俗文化財調査報告書より】

今回、岡崎市教育委員会社会教育課において、滝山寺鬼祭りの映像を製作し普及することで、祭りの文化的価値を知らせることが計画されました。そこで、本校にも「孫面」を被る児童への取材依頼が来ました。鬼祭りについては、岡崎市公式観光サイトにも紹介されています。こうした機会に、自慢できる地域の歴史文化を知ってほしいと思います。



第6回ときわ旬会を行っています。一年間を振り返って、思い出を五・七・五の十七音で表してみよう。モデル作品を放送室横の掲示板に貼っておいたから参考にね。